

# 介護老人保健施設 白馬メディア

## 『白馬メディアにおけるボランティア活動』

介護部 佐藤 千枝子

我が白馬メディアの多彩なボランティアさんたちを紹介したいと思います。ボランティアの形としては2つに分けられます。ひとつは日常的、継続的に関わって下さるボランティアさんたちです。

当施設でのリハビリを経て身体的自立を獲得し、毎日のように通所リハビリテーションのボランティアに通って下さった方や認知症専門棟に自分の居場所を見つけ、おしぼり作りを自分の仕事と考える精神疾患を抱えるボランティアさん。

村の介護予防教室修了後、サポーター役を買って出て下さる方々、定年退職後、通所リハビリテーションのお手伝いをして下さる方、きれいな水仙や百合の花などを定期的に届けて下さる方、野菜や果物を届けて下さる方たちもいます。

ボランティアのもうひとつの形としては、レクリエーションや行事などで非日常を演出し、生活に潤いや華やかさを与えてくれる方たちです。



開設記念祭に大掛かりで見事な作品を展示して下さる「生け花クラブ」のボランティアさん、納涼祭で太鼓や踊りを披露し、大いに祭りを盛りたてて下さる方々「そば祭り」で手打ちそばを実演し、利用者の目と舌を楽しませてくれる方々、暮れには立派な門松を届けて下さる方もいます。

こうして考えると、私達は何と多くの地域の方々に支えられていることでしょうか。地域ボランティアさんの活躍は閉鎖的になりがちな施設生活に新鮮な風を吹き入れ、利用者に大きな喜びを与えてくれます。

職員にとっては頼もしいサポート役です。ここでの活動がボランティアさん達にとっても大きな喜びや励みとなり、家族も含め地域のメディア（情報）交信の場となり、失われつつある地域コミュニティの場となることを願っています。

いつも優しく

# いつも優しく

今号は、城西病院・安曇野メディア・白馬メディアの3施設における『ボランティアの活動』をお届けいたします。



いつも優しく

社会医療法人 城西医療財団  
〒390-8648  
長野県松本市城西1-5-16  
TEL 0263-33-6400  
FAX 0263-33-9920

ホームページ  
<http://www.shironishi.or.jp>

### 目次：

- 城西病院 燦メンタルクラブ ..... 2
- 介護老人保健施設 安曇野メディア ..... 3
- 介護老人保健施設 白馬メディア ..... 4

### 城西医療財団 理念

私達は、病める人、障害を持つ人にいつも優しく、最良の医療サービス及び福祉サービスを一体的に提供する。また、心身の健康保持・増進を志向する人に最良の保健サービスを提供する。利用者を身体的、精神的、社会的、そして倫理的に診療し、科学的根拠に基づいた治療を行う。

## 城西病院 燦メンタルクラブ

### 『地域活動支援センター 燦メンタルクラブ におけるボランティア活動』



燦メンタルクラブ」は地域生活をされている主に精神障害をお持ちの方の日中活動の場で、ここに集まる皆さんの日常の相談やかかってくる電話相談に応じています。また、障害をお持ちの皆さんが地域で安心して暮らせるように、全体的な支援の調整として、サービス利用計画を作成する機能をもっています。

地域活動支援センター「燦メンタルクラブ」は、前身の地域生活支援センター時代からボランティアさんのご協力を得た活動をしています。当時は会社員や主婦など大勢の方に関わっていただき、特に日曜日はボランティアさんに運営していただいていたこともありました。

最近では松本大学や信州大学の授業の中で時間をいただき、福祉や心理学を学ぶ学生さんに燦メンタルクラブの宣伝とボランティア活動への参加を呼び掛け、これに応じていただいた若いボランティアさんが多くなっています。以前から関わっていただいている年齢も立場も違う先輩ボランティアさんが学生ボランティアさんに、ボランティアとしての極意を自然に話している様子を、我々職員はほぼ笑ましくそっと見守っています。

さて、ボランティアさんには色々な

#### 燦メンタルクラブ 入角 美和子

関わり方をいただいています。燦メンタルクラブのグループ活動の中の「コーラス」、「女性グループ」、「調理」「書道」などに参加していただき、利用者さんと一緒に楽しんでもらうようにしています。特に「書道」では講師の役を引き受けていただいている方もいて、利用者の皆さんの腕前がメキメキ上達しています。

また、ボランティアさんの単発的な参加も歓迎しています。「コーラス」の集大成として、大勢の人を前にした発表会にも参加していただくこともあります。ぶっつけ本番ではありますが発表当日の朝に簡単な打ち合わせと簡単な練習をしてから、午後のコンサートホールの発表に向かうことがあります。短時間で集中するのがいい効果なのでしょうか、いつも満足するいいコーラスが出来て、参加者一同が笑顔になります。反省会でビデオを観ながら、感動を新たにしながらボランティアさんも満足げです。

ボランティアさんには自然な感じで存在していただき、ボランティアさん自身が活動を楽しんでいただけるように我々職員も工夫しています。ボランティアさんの交流の場を図ったり、



勉強の場を提供したりしていますが、長く燦メンタルクラブに関わっていただきたいと思います。

前述の学生ボランティアさんたちはボランティア活動を通して、今後の自分の方向性が明確になったと語る方もいれば、看護学校に合格したという嬉しい知らせをお聞きした方もいま

した。こうやって施設側の事情だけでボランティアさんをお受けしているのではなく、ボランティアさん自身の将来を考えていただく場としても燦メンタルクラブが活用されるのは嬉しい限りです。

## 介護老人保健施設 安曇野メディア

### 『安曇野メディアにおけるボランティア紹介』

介護部 北原 圭

開設以来、安曇野メディアでは、様々なボランティア慰問の受け入れを行ってきました。その中でも、3年程前から毎年来てくださるようになった井上将興先生と門下生、学生さん達によるミニアンサンブルコンサートがあります。

門下生の皆さんが、夏場の合宿で長野県に来るようになり、その事がご縁で、利用者の皆さんに美しい管楽器の音色を聞かせていただいています。あまりの心地良い演奏に、利用者の皆さんも穏やかな表情で聴き入っておられます。職員にも好評で、今後も継続して来ていただきたいと思っています。

またご家族から離れて生活されている利用者さんの気持ちを和ませてもらっているのが、毎年開催しているクリスマス会に来てくださる、細萱保育園の園児達の慰問があります。毎年違ったかわいい劇や歌を披露していただき、利用者の皆さんに喜んでいただいている慰問の1つです。

小さな子供達のかわいい表情や、しぐさを見て、涙ぐんでいる利用者さんもいました。そういった利用者さんの姿を見ると、ご家族と離れ違う環境で生活を送っている皆さんを元気づ

け、施設生活を少しでも楽しい気持ちで過ごしてもらうためにも、レクリエーションやボランティア慰問が大切なのだと感じています。

これからも、利用者さんの施設生活に、“和み”の時間を多く持てるように、レクリエーション、ボランティア慰問に力を入れていきたいと思っています。

